



2019年11月19日

## 富士 SUPER GT×DTM 特別交流戦に 4 台の Audi RS 5 DTM が参戦

- 富士スピードウェイで DTM と SUPER GT が史上初の競宴
- 1.5km のホームストレートが勝負の行方を左右
- DTM チャンピオン、レネ ラスト：「どんな戦いが待ち構えているのか、今から楽しみにしている」

2019年11月19日、ノイブルク アン デア ドナウ：アウディにとって非常に充実したモータースポーツシーズンの最後に、ファン待望の特別なイベントが用意されました。ヨーロッパで高い人気を誇るドイツツーリングカー選手権 (DTM) と、日本の GT カーレースの最高峰、SUPER GT のマシンが同じレースで戦う、史上初の交流戦が 11 月 23 日～24 日に富士スピードウェイで開催されます。このイベントでは、日本とヨーロッパの 5 つのメーカーが勝利を目指して戦います。アウディは、4 台の Audi RS 5 DTM カーを日本で開催されるドリームレースに持ち込みます。

この数年間、ヨーロッパの DTM と日本の SUPERGT の主催者は、ツーリングカーレースの「チャンピオンズリーグ」を可能にするため、テクニカルレギュレーションの統一に向けて取り組んできました。この努力により、2019 年シーズンには DTM に既に導入され、610hp を超える 4 気筒ターボエンジンを搭載した「クラス 1」と呼ばれるカテゴリーのレースカーが誕生しました。SUPER GT でも、「クラス 1」レギュレーションが来年から施行されます。

そのため、現時点では、DTM と SUPERGT の一部のレギュレーションはまだ異なるものの、今週末に富士で開催される「ドリームレース」では、4 台の Audi RS 5 DTM と 3 台の BMW M4 DTM が、ホンダ、レクサス、日産のスーパーGT レースカーと戦います。アウディ モータースポーツ代表のディーター ガスは、次のように述べています。「レギュレーションの違いがあったとしても、バランスの取れた戦いになると考えています。私たちは、このようなレースを実現するために、長年も取り組んできました。そして、ついにそのときがやってきたのです。今回のレースでは、チームごとに 1 台のマシンが参加できたことを嬉しく思います。富士スピードウェイは、特別なサーキットです。非常に長いストレートとテクニカルなコーナーの組み合わせによる、魅力的なコースレイアウトを特徴としています。このコースで、完璧なセットアップを見つけることは非常に困難です。長いホームストレートでは、日本のレースカーに明確なアドバンテージがあるでしょう」

スタートおよびフィニッシュラインは、約 1.5km のホームストレートに設置されます。FIA 世界耐久選手権 (WEC) に Audi R18 ならびにカスタマーレーシングに Audi R8 LMS で参戦しているアウディは、WEC のレースカレンダーに組み込まれている、このユニークなサーキットの特徴を熟知しています。コンピューターのシミュレーションによると、Audi RS 5 DTM は、リヤウィングの設定にもよりますが、ストレートエンドで最高 300km/h の速度に達します。

4 台の Audi RS 5 DTM カーは、この「ドリームレース」のために、一部のカラーリングを刷新しました。DTM ファンの方々は、マイク ロッケンフェラーのレースカーをすぐに見分けることができるでしょう。彼のクルマは、2013 年に Audi Sport Team Abt Sportsline から参戦して DTM チャンピオンに輝いたときのカラーリングで、今シーズンの DTM にも採用されているブラックカラーの Akrapovič Audi RS 5 DTM で参戦します。

レネ ラストの Audi Sport RS 5 DTM は、日本で開催されるレースを記念して、ホワイトのボディにレッドの

アクセントを配し、日本の国旗を模したカラーリングが施されます。今シーズンのDTMチャンピオンである彼は、アウディジャパンのサポートを受けた Audi Sport Team Rosberg（アウディ スポーツ チームロズベルグ）から参戦します。今年は、極めてスポーティな Audi RS モデルの誕生 25 周年を記念する年でもあり、その点でも今回のレースは注目を集めています。

Audi Sport Team Phoenix（アウディ スポーツ チームフェニックス）から参戦するロイック デュバルは、レッドの BMC Airfilter Audi RS 5 DTM のステアリングを握ります。この会社は以前、イタリアのミサノサーキットで開催された DTM に、MotoGP のスターであるアンドレア ドヴィツィオーゾがワイルドカード参戦したときに、彼をサポートしています。

最後の 1 台は、アウディジャパン、Hitotsuyama Racing、アウディドライビングエクスペリエンスの支援を受けて参戦するアウディのカスタマーチーム、WRT Team Audi Sport のブノワ トレルイエが駆るホワイトの Audi Japan RS 5 DTM です。

4 つのアウディチームにとって、日本で開催されるレースへ参戦するためには、輸送面も課題となりました。機器類とスペアパーツの大部分は、数週間前に貨物船でアジアに向けて発送されました。4 台の Audi RS 5 DTM カーは、11 月 13 日にフランクフルト＝ハーン空港から日本に向けて空輸され、11 月 18 日にサーキットに到着しました。

4 人のアウディドライバーは、ノイブルク アン デア ドナウのシミュレーターで「ドリームレース」に向けて集中的な準備に取り組みました。レネ ラストは、次のようにコメントしています。「富士には、非常に長いストレートがあります。一部のセクション、特に最終セクションのコーナーは、非常にテクニカルです。タイトなコーナーが少ないのも特徴です。そのため、特にタイヤの摩耗という点で、非常に興味深いサーキットです。私は日本に行ったことがないので、どのような戦いが待ち構えているのか、今から楽しみにしています。シーズンも終了して、まったくプレッシャーのない状態で戦うことができるため、間違いなく面白いレースになると思います。日本のレースカーの実力をを見せてもらいます」

マイク ロッケンフェラーにとっても、富士スピードウェイで走るのは初めての体験となります。「日本でレースをすることができて嬉しいです。これまで、日本でレースをしたことはありませんが、日本で開催されているレースシリーズやファンの雰囲気について、多くの素晴らしい話を聞いていますので、今からワクワクしています」

ロイック デュバルとブノワ トレルイエは、WEC やその当時のスーパーGT、現在のスーパーフォーミュラに参戦しているため、富士のコースは熟知しています。デュバルは次のように語っています。「日本では、素晴らしい時間を過ごしました。再び日本でレースをすることを楽しみにしています。多くの人々が、DTM マシンとドライバーに会いに来てくれると確信しています。11 月の富士の天候は少し不安定ですが、天気が味方してくれることを願っています」

ブノワ トレルイエは、次のようにコメントしています。「富士でレースをすることになり、夢が叶いました。今回のレースでは、これまでの私のキャリアで最大の成功を収めた 2 つの要素、つまり日本とアウディが組み合わされることとなります。この 3 年間で、わずかに数レースしか戦っていないので、簡単に結果を出すことはできないかもしれませんが、WRT、アウディ、そして日本のファンを失望させないように全力を尽くすつもりです」

11 月 21 日の木曜日には、富士スピードウェイで 45 分間のテストセッションが 2 回実施されます。通常の DTM シリーズと同様に、金曜日に 2 回のフリープラクティスセッションが行われ、土曜日と日曜日にそれぞれ予選と決勝レースが開催されます。決勝レースは、両日ともに午後 2 時 30 分にスタートします。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。